

長崎の林業

小曾根星堂書



5

椿の記念植樹（五島市）

目次

● 林政だより	令和5年度 ながさき森林環境税事業の概要	2~3
● 特集記事	届け！山の恵みの「お日さましいたけ」 諫早市 中島農園 中島 修さん、久美子さん	4~5
● 林業普及だより	『請負作業班』 林業安全衛生 及び 市場採材研修会	6
● 地方だより・県央	多良岳ツクシシャクナゲ祭り 一高来町山林協議会	7
● 地方だより・五島	新上五島町つばき里山まつり / 五島椿まつり	8
● 林業団体情報	令和5年度 長崎県民の森 年間イベントのお知らせ	9
● センターだより	ヤブツバキの開花と結実の特性を調べています	10
● お知らせコーナー	田平南小緑の少年団 キャリア教育に関する文部科学大臣表彰 記念植樹	11
● 長崎の山と森	上見坂公園385m（対馬市）	12

「長崎の林業」は、
ながさき森林環境
税により発行して
います。



2023
No.812

木づかい推進で地球温暖化を防止しよう！

ながさき森林環境税の取組についてはこちら→



森林ボランティアに興味のある方はこちら→



FREE

ご自由にお持ち下さい。
「長崎の林業」はこちらからもご覧いただけます→



林政だより

令和5年度 ながさき森林環境税事業の概要

ながさき森林環境税は、近年のSDGsやカーボンニュートラルなどの社会的要請に応えるとともに、森林の整備や木育の推進、県産材の利用拡大など、「環境重視」と「県民参加」の視点に立った活動を支援します。

「環境重視」の取組

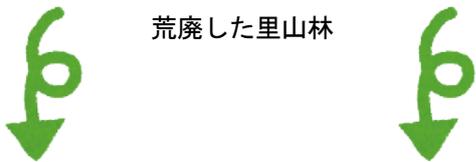
①人集う里山づくり

里山林整備事業

集落のにぎわいと憩いの場を提供するために、花木の植栽や遊歩道の開設など、より身近で親しみやすい里山林づくりを実施します。



荒廃した里山林



整備された親しみやすい里山林

②未来へつなぐ多様な森林づくり

本格的な利用期を迎えた森林資源を「伐って、使って、植えて、育てる」といった循環利用のために、伐採後の苗木の植栽、下刈、獣害対策について支援します。



苗木の植栽



下刈



獣害対策（防鹿ネット）

「県民参加」の取組

③ふるさとの森林づくり事業

市町において、「ながさき森林環境税」の趣旨に即した地域の独自性と創意工夫による多様な取組を支援し、地域の森林づくりや県産木材の利用等の促進を図ります。



公共施設の木造・木質化



保育施設の木質化



保育施設に木製品の導入



森林公園の整備

④ながさ木・なごみの街づくり

県産木材の利用を促進するために、民間の「PR効果の高いスペース」及び「教育・保育スペース」において、木質化及び木製品を県産木材で整備する取組を支援します。

「木質化」とは、建築物の新築、増築、改築又は模様替えにあたり、天井、床や壁などの室内に面する部分、外壁やデッキ等の屋外に面する部分に県産木材を使用し整備することです。

「木製品」とは、机、テーブル、椅子などの家具、又は遊具や玩具について、県産木材を使用し製作するものです。

⑤ながさき県民参加の森林づくり事業

県民の皆さんが「ながさき森林環境税」の趣旨に即して、自ら企画立案して実施する植樹を中心とした活動、森林の環境整備を中心とした活動などを支援します。



植樹活動

詳しくは「ながさき森林環境税」で検索！



(林政課 計画調整班)

【特集記事】

SNSで販路拡大 つながる生産者と消費者



届け!山の恵みの「お日さましいたけ」

諫早市 中島農園 中島 修さん、久美子さん

八天岳中腹に構える原木椎茸ほだ場にて 中島農園 なかしま 中島 おさむ 修さんと奥様の くみこ 久美子さん

ひときわ目を引く「八天狗」の大鳥居をくぐるとそこは、凜とした空気が流れる天狗伝説が伝わる里、諫早市はしのお土師野尾町。この静かな山あいの地で、山の恵みを大切に守り受け継ぐご夫婦がいらっしゃいます。「中島農園」中島修さん、久美子さんです。お二人は知人ぞ知る「幻のつしま地鶏しどり」の養鶏と無農薬栽培米の生産農家さん。100%自家製の発酵飼料で育ったつしま地鶏の卵はレモンイエローの黄身が特徴で、甘く臭みがないと評判です。この中島農園で今、SNSを通じ注目されているのが、その名も「お日さましいたけ」。今回はこの原木椎茸栽培についてお話を伺いました。

山師の家に生まれて

修さんの家系は昔から続く山師です。「中島木材」を経営する父の元、山は格好の遊び場で、幼い頃からやかんいっぱいの水を作業場へと届けていました。山と共に生きる家族の一員として、子供も自分ができることを「仕事」として手伝えるのは当然のことだったと話

します。長年に渡る林業貢献の功績が称えられ、旭日小綬章受章の他、第41回全国植樹祭では緑化功労賞を受賞、上皇ご夫妻がヒノキの苗をお手植えなさる際のくわ鋤を渡された新司さん。山師として、また旧諫早北高森林組合の組合長として日々山を歩き、北高の山々の現状を知り尽くした新司さんは自慢の父でした。

山の恵みを届ける仕事へ

学生の頃は、帰宅するとすぐに母と椎茸を収穫、食後は夜遅くまでパック詰めをし、夜中に母の運転で長崎と諫早の青果市場に卸す日々だったそう。当時5名の従業員がいたものの、毎日500パック程出荷するため、菌打ちの際には増員するも大変な忙しさでした。病弱だった修さんのため、夏に暑く厳しい思いをしないようにとご両親が作った働き口でもあった椎茸栽培。19歳でプロの道へと進み、群馬県の種菌製造会社で基礎を習得、時には宮崎県の生産農家まで出向いてそのノウハウを学びました。

丁寧で細やかな手仕事

受け継いだ技術に更に試行錯誤を重ね、多い時では20~30万個を植菌し、安定した年間生産計画を確立した修さん。ふた夏を越し秋に収穫する通年栽培品種の「5K16」に加え、夏収穫の「なつみ」の栽培も開始。ほだ木の伏込み場所も毎回少しずつ場所を変え、仮伏せから本伏せの際は一度山から降ろし別の山のほだ場へ運びます。立てた後も水分調整と菌を動かすため、ほだ木の天地返しを繰り返すそう。発生が始まると、細かく温度湿度を管理し、収穫に適した最高のタイミングを見極めます。2か月おきに浸水し、手間暇をかけて育てた椎茸の収穫は年に4~5回と安定、定着しています。



(左) 収穫を間近に控えた本伏せのほだ場
(右) 共同作業で行う毎日の収穫作業

大切に守りたい山の恩恵

栽培に欠かせないのが父と大切に育てたクヌギと山の湧水です。今季伐採したのは15~20年前に一度伐ったクヌギの「ひこばえ」。植菌用に積まれた原木は大小様々で、山の資源を少しも無駄にせず、有効活用したいという修さんの想いを感じました。



(左、中) 八天岳中腹の夏専用浸水プール
(右) 仮伏せ中の原木 大小様々な木を有効活用

島農園」には2か所のプールがあります。そのうち後者は夏専用で、ここは不思議なことに、春の彼岸から秋の彼岸までの限られた期間しか水が湧きません。実際に取材時(2月末)は湧水していましたが、夏場は川のように流れます。その水温は低く年間を通して安定しており、真夏でも13~14度程。この冷たい水のおかげで、自然界の中でもより多くの回数発生するそう。代々守り継がれてきた湧水、これからも手を入れ大切に守っていききたいと話されました。

奥様は「敏腕営業マン」

元小学校教員の久美子さん。定年後は主に販路拡大と顧客獲得に尽力し、ゼロから学んだSNSを駆使し椎茸の魅力を毎日発信しています。原木や森の循環、生産過程、レシピ等、食育や木育に繋がる情報を積極的に豊富に発信することで、子供も楽しめる販売ツールとなりました。分かりやすく丁寧な営業努力が実を結び、マルシェや新店舗での販売という夢も叶いました。同市で開催されている「杏の里」さん主催のこだわり満載の「よしみマルシェ」では、天日干しでビタミンDが増した、食感が自慢の「お日さましいたけ」販売の他、原木椎茸の収穫体験にも挑戦。午前中には売り切れる程の大盛況でした。歯が生え始めたお子さんに安心安全な離乳食をと訪れた土屋さんは、収穫した椎茸を煮物にしてあげたいと話されました。昔からあるものに感謝し大切に守ると同時に、新しい風を取り入れる「中島農園」の挑戦は今日も続きます。



(左、中) 収穫体験を楽しむ土屋さんと優奈ちゃん
(右) 椎茸の特徴や調理法を説明する久美子さん

本伏せのほだ場、仮伏せの八天岳中腹と「中

(NPO法人地域循環研究所)

林業普及だより

『請負作業班』 林業安全衛生 及び 市場採材研修会



安全衛生研修会の様子

はじめに

林業の現場で活躍されている林業事業者の中には、森林組合等から委託される作業を専門の生業としている『請負作業班』や『連携事業者』と言われる比較的小規模な林業事業者（以下『請負作業班』という）がおり、貴重な林業の現場の労働力の一つとなっています。

『請負作業班』の中には、一人親方や家族経営で従事される方々もおり、発注元の監督下の限りで、就業規則等に縛られることなく、各々自己判断で作業に従事されている反面、社会保険料等の加入状況や安全な労働環境の確保の点で、改善が必要と考えられる『請負作業班』も存在します。

またそのような『請負作業班』は、各種研修会等を受講する機会も少ないことから、県北振興局では長崎北部森林組合の『請負作業班』を対象に林業安全衛生研修および採材研修を企画・実施しました。

安全衛生研修会

安全衛生研修会では、県内での林業労働災害の概要や全国的な労災の現状、現場での禁止事項等について注意喚起を行うとともに、正確な伐倒（伐倒時のポイント）や安全確認の重要性、また、若手作業員への指導・訓練の重要性について講義を行いました。

今回は、座学のみとしましたが、今後は、より実践的な技術と安全意識の浸透に資するよう伐木練習機を使った研修などを計画し安全技術の普及に努める予定です。

採材研修会

同日開催した採材研修では、作業環境によって、採材や材の仕分けがバラバラな状況が見受けられる現場もあったことから、伊万里木材市場にて市場担当者から材の曲がりやキズ、節、シミ、腐れ等の有無による規格の採材・選別方法や出荷時の仕分けの留意点等について講義を受けました。

山側で丁寧な作業を心掛けることで、市場および発注元からの信用・信頼を得られるとともに無駄な費用も省け、森林所有者への還元額の増加や自らの委託料の増加に繋がる重要な要素となることから、ニーズに合った採材・均一で効率的な仕分けに取り組んでいただき、品質及び単価向上に繋がることを期待します。



伊万里木材市場での選別基準の説明



伊万里木材市場での選別機での木材の見方

(県北振興局 林業課)

地方だより

多良岳ツクシシャクナゲ祭り —高来町山林協議会—



令和4年4月 多良岳ツクシシャクナゲ祭り集合写真

高来町山林協議会の取組

諫早市高来町多良岳周辺には、国の天然記念物「多良岳ツクシシャクナゲ群叢（約5[㍻]㍻）」をはじめ、多様な植物が生育しており、中でも淡いピンク色の可憐な花を咲かせるツクシシャクナゲが県内でも多く自生しています。

諫早市の花であるツクシシャクナゲは、山奥に自生していることから、人目に触れる場所が限られています。

そこで、^{うら}宇良山林保護組合、NPO法人小^お江山林会、湯江山林会、^{ふかのり}深海地区山林財産組合が母体となり、平成18年度に設立された高来町山林協議会は、市民が山に親しみ、山や緑の大切さを理解してもらうため、環境の整備に努めることを目的として、多良岳中腹の比較的アクセスが容易な場所にて、環境整備に取り組まれました。

平成23年からは、諫早市の助成を受けて地域住民の方々と協働し、約3千本のツクシシャクナゲの植栽や除伐を行い、整備地一帯が可憐なピンクの花が多く咲く名所となりました。



令和4年3月 ツクシシャクナゲ植樹祭

可憐な花の見頃は4月から5月

この美しい景観を多くの方々に周知し、多数の観光客が当地を訪れることにより、地域活性化が図られることを祈念して、9回目となる「ツクシシャクナゲ祭り」が、令和5年4月中旬から5月上旬にかけて「しゃくなげ高原」にて開催されます。

毎年、新聞にも掲載され、様々な諫早市の情報誌等でも「諫早市の花ツクシシャクナゲ」として取り上げられています。



ツクシシャクナゲの可憐な花

更なる地域活性化に向けて

地域資源を活かした様々な取組を実践されている高来町山林協議会は、令和2年にその活動が高く評価され、ながさき農林業大賞運営委員長賞を受賞されています。

この豊かな自然と3千本を超えるツクシシャクナゲを多くの方々にご覧いただき、更なる地域活性化に繋がっていくことが期待されます。

（県央振興局 林業課普及班）

地方だより

新上五島町つばき里山まつり / 五島椿まつり

新上五島町つばき里山まつり

令和5年2月11日に新上五島町の奈良尾総合体育館にて、第9回つばき里山まつりが開催されました。この催しは、新上五島町つばき里山まつり実行委員会が主催し、町の花木であるヤブツバキや関連商品を知ってもらい、観光・地域振興に役立ててもらおうことを目的としています。



五島つばきの盆栽・写真の展示

屋内会場では、ツバキの盆栽や写真の展示、県農林技術開発センターによる「ツバキ林管理のポイント」と題した講演のほか、上五島高校生書華道部による書道パフォーマンスが行われました。屋外会場では、ヤブツバキ苗の無料配布、ツバキ油や椿木工製品の即売、ハンドメイドの革製品等販売や餅まきがありました。また、シイタケ駒打ちや椿木の木工体験には子供達がたくさん参加しました。

今回は、新型コロナウイルスの影響により平成29年度以降実施できず、6年ぶりの開催でしたが、天気にも恵まれ約400人の来場があり大盛況に終わりました。



農林技術開発センターによる講演会

五島椿まつり

令和5年2月25日に五島市三井楽町の白良ヶ浜万葉公園で「TSUBAKIで椿の島を美しく」椿植栽イベントが開催されました。これは五島市・サンドラッググループ・資生堂ファイントウディ3者の共同企画で、五島椿まつりの一環として、平成24年から開催されており、今年で12回目となります。



玉之浦椿の記念植樹

島内の緑の少年団員や一般参加者も含めて約80名の参加があり、玉之浦椿の記念植樹を含め、100本の椿を植えました。

椿の成長を願い、苗木に丁寧に土をかぶせて植樹した後、木製のプレートにそれぞれの想いと名前を書いて、椿に結び付けます。



大人気!つばきねこ

五島市のつばきねこも植樹の手伝いに駆けつけ、子供たちに大人気でした。

今はまだ小さな椿ですが、数年すると花を咲かせて五島の冬を彩り、人々を楽しませてくれることと思います。

(五島振興局 林務課)

林業団体情報

令和5年度 長崎県民の森 年間イベントのお知らせ

日頃より長崎県民の森をご利用いただき感謝申し上げます。

長崎県民の森では、多くの県民の皆様には森で楽しんでいただくよう多くのイベントを企画しておりますのでご紹介いたします。

どのイベントも、毎年大人気で、特に「水の生き物と遊ぼう」や「木工教室」は夏休みの思い出作りに、冬の「クリスマスリース作り」や「ミニ門松作り」は家族一緒に和気あいあいと作って、家に飾ってもらえたらと企画しました。

申込には有料、無料や先着順、抽選など申し込み方法が異なりますので募集チラシをチェックして申し込んでください。

2023		イベント内容
6月	25日	野生きのご観察会 I
7月	1日～ 9月30日	長崎県民の森 フォトコンテスト
	9日	樹木名板づくり
	23日	夏休み自然クラフト教室
	30日	沢遊び
8月	11日	山の日イベント (水の生き物と遊ぼう)
	20日	夏休み木工教室
9月	17日	凧作り
	24日	野生きのご観察会 II
	24日	ゆったり森時間 ～シェアリングネイチャー～
10月	15日～29日	ドングリのひみつ展(森林館)
	22日	ドングリ染め
11月	10日～13日	ドングリのひみつ展(長崎県庁)
	12日	巣箱作り
	19日	クリスマスリース作り
	19日	紅葉狩り健康ウォーキング
12月	3日、10日	松ぼっくりツリー作り
	17日	ミニ門松作り



親子で木工製作

また、企画イベント以外でも「自然クラフト」や「松ぼっくりツリー」などもいつでも自由に森林館で作ることができますので、気軽にスタッフに声をかけてください。



自然クラフト教室

皆様のご来園をスタッフ一同、心よりお待ちしております。

(長崎県民の森 管理事務所)

センターだより

ヤブツバキの開花と結実の特性を調べています



はじめに

令和4年8月号でヤブツバキ（以下、「ツバキ」という）の結実特性をご紹介しました。今回は、ツバキの開花と結実の特性評価の取組をご紹介します。

らず結実数及び結実率は年によって差があることが分かりました(表1)。毎年、一定数の受粉が起こっていると考えると、2022年は多くの個体で結実数が減少しており、受粉後に起こる「生理落果」に年変動があると考えています。

調査の内容・特徴

1. センター内のツバキを対象に、令和2年11月末から令和4年9月末までの2年間、開花・結実について調査しました。
2. ツバキには隔年結果があることを報告しています。今回、2か年の開花数、結実数及び結実率を比較した結果、開花数に関わ

終わりに

今回の調査結果からツバキ実の生産には「生理落果」の対策が重要であることが分かりました。引き続き、ツバキ林の育成技術の開発を進め、ツバキ種子の豊凶対策に取り組んでいきます。

(農林技術開発センター)

表1 個体毎の調査年別の開花数とその結実数

個体番号	樹高 (m)		開花数 (個)		結実数 (個)		結実率 (%)	
	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022
1	3.0	3.0	197	149	42	5	21	3
2	2.9	2.9	477	283	166	22	35	8
3	2.7	2.7	7	7	2	3	29	43
4	2.5	2.4	30	43	10	3	33	7
5	2.5	2.4	63	56	38	26	60	46
6	3.3	3.2	185	254	45	2	24	1
7	3.1	3.0	45	71	23	25	51	35
8	3.0	3.1	31	31	6	5	19	16
9	3.3	3.3	75	138	17	19	23	14
10	3.2	3.6	55	124	19	7	35	6
11	3.0	3.1	352	126	70	10	20	8
12	3.6	3.7	199	262	85	9	43	3
13	3.6	3.5	129	67	16	2	12	3
14	2.4	2.5	42	3	17	1	40	33
15	2.5	2.5	250	0	169	0	68	0
16	3.1	3.2	42	121	26	54	62	45
17	1.5	1.5	44	6	24	4	55	67
18	3.3	3.3	469	262	116	4	25	2
19	2.6	2.6	1,250	161	190	31	15	19
20	2.6	2.7	260	36	116	11	45	31
21	2.1	2.2	116	85	32	27	28	32
22	2.1	2.4	64	35	21	17	33	49
計	-	-	4,382	2,320	1,250	287	-	-
平均	2.8	2.8	199	105	57	13	35	21
有意差	なし		なし		あり (5%)		あり (1%)	

開花数は年によって差がありませんでした。たくさん花が咲いてもたくさん結実するわけではないようです。

結実数と結実率は年によって差がありました。ツバキの受粉後に起こる「生理落果」に年変動があると思われます。



お知らせコーナー

田平南小緑の少年団 キャリア教育に関する文部科学大臣表彰 記念植樹

令和5年3月3日（金）に平戸市田平町下寺免七尋の滝周辺にて田平南小緑の少年団が「第15回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰」を受賞したことを記念して記念植樹が行われました。この表彰は、キャリア教育の充実発展に尽力し、顕著な功績が認められた教育委員会、学校及びPTA団体等に対して贈られるものです。田平南小緑の少年団は小学校区内の恵まれた自然環境を活用し、児童の生きる力の育成を積極的に行っていることから、1月に表彰が行われていました。

記念植樹当日は、田平南小緑の少年団の他、田平まちづくり協議会、中山間下寺集落等から32名が参加し、集落の方等から添え木や土のかけ方等の植樹指導を受け、子どもたちが壱岐山桜やブラジル原産のイペーの木15本を植えました。田平南小緑の少年団の浦田盛隆さんは「今回緑の少年団の取組を表彰していただいて大変うれしく思



壱岐山桜の苗を植える田平南小緑の少年団

っている。記念植樹を行った場所は森林散策として大変良い景観をもっている。今後はこの七尋の滝周辺を地域住民の憩いの場や観光資源として、より活用できるよう緑の少年団やまちづくり協議会などの地域全体で連携して守っていきたいと思う」と今後の抱負を語られました。

(NPO法人地域循環研究所)

伊万里木材市況

【ヒノキ】

令和5年4月現在

長さ	径級 cm	等級	高値 (円/㎡)	現在出荷量	現在引合	需要見通
4m	16～18	直	18,200	普通	少ない	少ない
	16～18	小曲り	17,200	普通	少ない	少ない
	20～22	直	18,000	普通	少ない	少ない
	20～22	小曲り	17,000	普通	少ない	少ない
	24～28	直・小曲り	18,000 ～16,000	少ない	少ない	少ない

【スギ】

令和5年4月現在

長さ	径級 cm	等級	高値 (円/㎡)	現在出荷量	現在引合	需要見通
4m	18～22	直	15,500	少ない	普通	普通
	16～22	小曲り	13,500	少ない	普通	普通
	24～28	直	15,500	少ない	普通	普通
	24～28	小曲り	13,500	少ない	普通	普通

※情報・お問い合わせは、伊万里木材市場 電話 0955-20-2183 まで

長崎の山と森

かみざか
上見坂公園385m (対馬市)

上見坂公園（標高385m）は、対馬市^{いづはら}厳原と美津島の境界付近にあります。現地を訪問するには、対馬やまねこ空港から車で20分程度かかります。上見坂公園は壱岐対馬国定公園に指定され、展望所からの眺めは絶景です。

展望所から北西の方角を眺めると、^{れいほう}霊峰、^{しらたけ}白嶽（標高519m）を確認することができます。対馬の山並みは、概して穏やかな丘陵地帯が多いようですが、白嶽は^{おだけ}男嶽と^{めだけ}雌嶽とかなり突出した感じを受けます。白嶽は信仰の対象で、山全体が御神域、ご神体として^{まつ}祀られています。山体は^{せきえいはんがん}石英斑岩できており、白い霊峰と言われる所以です。又白嶽は国の天然記念物に指定されています。4～5時間あれば麓の白嶽神社から十分登山を楽しめますが、頂上付近は岩肌がむき出しになり、チェーンもないので注意が必要です。



展望台から望む白嶽

展望所から北の方角を見渡すと対馬やまねこ空港の滑走路が視界に入ります。滑走路のちょっと先に赤く塗装された斑点を確認できます。きっと^{まんびきばし}万関橋です。対馬は本来、一つの島だったそうですが、明治時代に軍艦を通すため、土木工事を実施して人工的に島を切り離し、その後万関橋をかけたそうです。これらの土木工事の背景には、東アジアの緊迫した国際情勢がありました。万関橋の西側には、リアス式海岸で有名な^{あそうわん}浅茅湾が広がっています。また空港の少し手前では、美津島の集落を確認することができます。

当日の風景は霞がかかり、見通しが利かないのが心残りでした。澄んだ日には韓国の遠景が見える日もあるそうです。季節によっては、イカ釣り漁の漁火を見ることもできます。夜景に浮かぶ漁火はきっと幻想的であるに違い

ありません。

公園内は遊歩道が整備されています。遊歩道に沿って北東方向に進むと、明治時代に建設された上見坂砲臺の遺構を見学することができます。この砲台は緊迫する国際情勢に対処するため明治35年（1902年）に建設されたそうです。この堅固で大きな遺構から、当時の国の危機意識の強さと対馬が国境の島であることを否応なく痛感させられます。

上見坂公園に自生する森林はシイノキなどの常緑樹が多く、胸高直径30cm以上の木も多いと感じました。明るい森林空間となるように管理者は樹木の抜き伐りを適宜実施したり、落葉の除去を実施しているようです。対馬を旅行するときには、ぜひお立ち寄りください。

(NPO法人地域循環研究所)



上見坂砲臺



園内に見られるシイの巨木

長崎の林業 5月号 第812号
編集・発行 長崎県林政課
住所：長崎県長崎市尾上町3番1号
電話：095-895-2988
ファクシミリ：095-895-2596
メールアドレス：
s07090@pref.nagasaki.lg.jp

※お知らせ
長崎の林業の発行が変更になります。
令和5年5月号から2ヵ月に1回の発行となりますので、次回の発行は令和5年7月号になります。